■日時 平成27年8月19日(水) ■天候 晴れ

天理高校 対 東京都立八王子拓真高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 4回戦 準決勝 ■試合時間 2時間19分 ■備考 延長13回

■審判 球審:田中 塁審:伊藤 渡辺(登) 山田

怪我治療で中断4分間

13回からタイブレーク

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		計	安	失
八王子拓真	東京1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		2	5	2
天理	近畿·奈良	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1x		3	5	1

	_			
	_	4.	-	-

		ポシ	<b>ブシ</b> ∃	シ			氏:	名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
1	投					宮	内	駿	芽	5	1	1	1	三振		中本			投ゴ		二飛			三振			
2	П					長	嶋		凌	3	1	0	0	死球		捕邪			二丁		三邪			四球			
3	Ξ					佐	藤	幹	汰	6	0	3	1	左2		ニゴ			中安			三振		中安		二ゴ	
4	左					吉	田	拓	口	5	0	0	0	三振			三振			死球		三振		一飛		中飛	
5	捕					宮	尾	未沙	滩	5	0	1	0	遊ゴ			三振			二二		三振			中安		
6	遊					太	田	利	明	3	0	0	0		二二		右飛			三振			死球		四球		
7	中					木	村	茉	生	5	0	0	0		遊ゴ			ΞΪ		三ゴ			右直		右ゴ		
8	右					新	田	悠	馬	3	0	0	0		三振			二ゴ			死球		投ゴ				
9	_					植	野	龍	也	4	0	0	0			三ゴ		三ゴ			三振			一邪			
							合	計		39	2	5	2	残暑	塁:8	併希	殳:0	•	•		•	•	•			•	
							供	老																			

#### ■バッテリー

投手			排	手
宮内駿芽		宮	尾	未

#### ■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
宮内駿芽	12 0/3	46	5	7	6	2

### 天理

		#.	ジショ	¬`,		氏名	7	打	得	安	点	-1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
		715	//=	<u> コン</u>		八七		11	1寸	女	从	- 1	2	ა	4	ວ	0	,	_	-		- 11	12	13		
1	=	中			奥	村队	易太郎	4	0	1	0	三振		三振			左2		投犠		捕失					
2	Ξ				浅	井巾	真太郎	3	1	0	0	三振			三振		四球		投犠		三振					
3	遊		捕		森		隆 信	5	0	2	1	二ゴ			投ゴ		遊飛		右安			三安				
4	-				久化	呆寺	輝	2	0	0	0		捕邪		投ゴ			四球								
4	走		=		村	手 カ	雄 紀	1	0	0	0								二飛			投犠				
5	右				森		请 信	5	1	1	1		遊ゴ			三失		四球		中飛		遊ゴ		右安		
6	捕		_		Ξ	好	完 太	4	0	1	0		四球			投安		三ゴ		中飛		三ゴ				
7	中	左			大	江 ;	台 義	4	0	0	0		投ゴ			ニゴ		死球		中飛			左飛			
8	左				岩	城	潤	1	0	0	0			ΞΪ												
8	打	=	遊		畦	越	純	4	0	0	0						投ゴ	ーゴ			捕邪		右ゴ			
9	投				本	間	裕 悟	4	1	0	0			三振			投ゴ		死球		三振		三ゴ			
				•		合計	†	37	3	5	2	残	塁:10	併	殺:1	,		,		•	,		•	<del>-</del>	•	
										備	考															

# ■バッテリー

投手												
本	間	裕	悟									

捕手												
Ξ	好	完	太									
森		隆	信									

未沙輝

## ■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
本間裕悟	12 2/3	45	5	11	6	2

### ■戦評

駒沢球場で行われた準決勝第1試合は準々決勝を投手戦で制した天理高校と大量20得点によるコールドで制した東京都立八王子拓真高校の対戦となった。両チーム先発は天理本間、八王子拓真宮内の主戦に大事なマウンドを託した。先攻の八王子拓真は初回死球で出塁した長嶋を一塁に置き3番佐藤の左翼越適時二塁打で1点を先制すると3回には好投を見せる先発宮内が天理先発本間の直球を中堅深く運び見事な走塁でランニング本塁打とし責重な追加点を自らのバットでもき取る。4回まで八王子拓真先発宮内の前に無安打に抑えられていた天理は5回失策と安打で立て続けに出塁するもそれぞれ走者がけん制で刺され反撃の糸口をつかめない。一方追加点を奪いたに八王子拓真も発宮内の前に無安発本間の前になかなか好機を作れず試合は終盤へ。本間の好投に応えたい天理は7回一死から四球で出た走者を内野ゴロと盗塁で三塁まで進めると暴投の間にようやく1点を返す。続後8回先頭の9番本間が四球で出塁すると1番奥村2番浅井が続けて犠打で送り二死ながら走者を三塁に進める。ここで3番森口隆が右翼へ値千金の適時安打を放ち同点に追いつき延長戦に突入する。サコナラで一気に決めたい天理は10回11回と二死ながら三塁まで走者を進めたが八王子拓真も必死の守りで得点を許さず12回を終えて2ー2の同点。大会規定により一死満塁任意打者で始まる13回、先攻の八王子拓真は主将の3番佐藤からの打順を選択したが佐藤が内野ゴロに倒れ続く4番吉田も中飛に打ち取られ無得点に終わる。その裏天理は5番森口晴からの打順を選択すると森口晴が宮内の直球を右翼越に運び熱戦に終上符を打った。天理が3ー2で勝利し9連覇に王手をかけた。一方最後は天理の前に力尽きた八王子拓真であったが、主戦宮内を中心とした堅実な守りと主将佐藤を中心に好機を逃さず大量点を奪いに行く強力打線の戦いぶりは全国三位の名にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。